みんなの　健・康・&・法・律

■こどもの心の発達（第8回）

# 小児自閉症（その1）

福岡大学医学部精神科
講師　小林隆児

小児自閉症（略して自閉症）と呼ばれる精神発達の障害は精神遅滞や発達性失語と類似していながらもことばの獲得や対人関係の成立が著しく困難なことから、的確な診断と治療教育が急がれるこどもの精神障害のひとつです。マスコミでもよく取り扱われるために『自閉症』ということばは随分普及してきましたが、残念なことに今でもよく誤用されています。

自閉症のこどもたちの特徴はその発達経過の特異さにみられます。そのため加齢とともに診断はよりはっきりしてきますが、可能な限り早期からその疑いのあるこどもについては育児に対する特別な配慮が必要です。

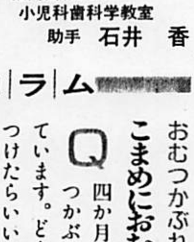
乳児期の主な特徴としては、余り泣かず、おとなしくて手がかからないために親は育児が楽と感じたり、あやした時の反応が弱い、喃語（ナンゴ）が少ない、人見知りをしない、イナイイナイバーなどの芸をしない、音に敏感ですぐに目を覚ます、抱いた時に予期姿勢をとらないために抱きにくいなどがあげられます。とにかく乳児の頃から母との間で感情交流が仲々芽生えず、周囲からの刺激や働きかけに反応が鈍く、一方ではある特有な音刺激にのみ過剰な敏感さを示すことがあります。

一歳すぎると、視線が合わない、声かけに振り向かない、指示に応じない、普通の玩具より自分の気に入りの物だけで遊ぶ、落ち着かずひとり行動が多い、周りの人に関心を示さない、親のあと追いをしない、動作模倣をしない、ことばを話さない、などはっきりした特徴が明らかになってきます。

診断の上で最も重要なことは感情の交流即ち共感的な関わりがもてるかどうかにあります。もしこうした特徴がいくつかでもあれば放置せずに、保健所などを通じて専門機関に診てもらうことです。ここでもやはり早期発見が大変重要になります。

どうしました？　ハーイ　ドクター

# 乳歯の萌出



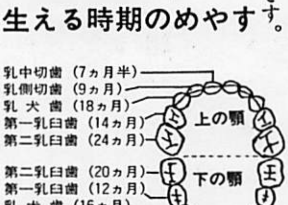
福岡歯科大学
小児科歯科学教室
助手　石井　香

生まれて数カ月たつと赤ちゃんにも色々な表情が出てきます。お母さんは日々に成長する我が子に眼を細め、楽しく満ち足りた気持ちにひたされます。しかし、初めてのお子さんの場合は、よそのお子さんと比べ、成長・発達の遅れているところがないかと心配なものです。歯の場合も、まだ生えてこないかと口の中を覗きこんでいるお母さんの姿をよくみかけます。

乳歯は生後6カ月頃、さし絵のように下の顎の前歯から生え始め、2歳半頃迄に生えてしまうのが普通のようです。しかし、歯の萌出にはかなりの個人差が有ります。図表にしめした「めやす」から1～2カ月前後しても全く心配ありません。従って次のような特別の場合以外は、余り神経質にならないで下さい。特に異常と思われるのは、生まれた時、又は生まれてから1カ月以内の早い時期に生えてきた歯（先天性歯）の場合、またこれとは反対に、1歳の御誕生日を過ぎても歯が一本も生えてこなかったり、隣在する歯に比べ生えてくるのが著しく遅れている（萌出遅延）場合です。先天性歯は、下の顎の前歯に多く見られ、赤ちゃんがお乳を飲む時に自分の舌の下やお母さんの乳首を傷つける事があるので心配です。また、萌出遅延は全身的病気や局所的原因が考えられます。このような異常が有る場合は歯科医に直ちに相談してみて下さい。

乳歯が生え揃ってしまった後でも、最初の気持ちを忘れずに、まだまだ自分の歯を管理出来ない子供に代わってお母さんがこまめに注意して上げる事が将来むし歯を作らない為にも大切な事です。

**乳歯の名前と生える時期のめやす**




## 健康コラム

**おむつかぶれ**
**こまめにおむつの交換を**

Q　四カ月の女の子。おむつかぶれがひどく困っています。どんなことに気をつけたらいいでしょうか。

A　おむつかぶれの原因は様々ですが、多いのは大便中の細菌が尿を分解してアンモニアをつくり、これが湿ったやわらかい皮膚を刺激して起こります。また、便や、おむつに残っている石けんや洗剤が皮膚を刺激して、接触性皮膚炎を起こすこともあります。間擦性湿疹は、肥満した乳児の首、わきの下、ひざのうら、ひじの内側のように、たがいに皮膚が接する部分にみられる湿疹で、発汗、入浴後の手入れの不完全などが原因です。

日頃の予防法としては、おむつの材質に注意し、なるべく通気性、吸湿性のよいものを用い、おむつカバーもゴム、ナイロン、ビニール製のものをさけ、布製のものを選びます。おむつの洗たくは、充分水洗いして、石けんや洗剤をよく洗いおとします。おむつの交換はできるだけ頻繁に行い、交換のたびに外陰部、肛門部、臀部をお湯できれいに拭き、すこしでも紅斑をみとめたら、そのつど亜鉛華オリーブ油を薄く塗布しておきます。このとき、ベビーオイルを使用してはなりません。